

2025年6月5日

リコージャパン、2050年までの脱炭素目標およびロードマップを設定 ～172事業所でRE100対応電力を導入、脱炭素の社内実践を加速～

リコージャパン株式会社(社長執行役員:笠井 徹)は、2050年向け脱炭素目標を設定し、目標達成に向けた「脱炭素ロードマップ V1.0」を策定しました。このロードマップに基づき脱炭素の取り組みを強化し、社内実践を加速させることで、お客様のGXの支援を強化します。この取り組みの一環として、5月より、リコージャパンの172事業所において、RE100対応の電力メニュー※の使用を開始しました。

※運転開始15年以内のトラッキング付き非化石証書(再生可能エネルギー指定)を用いて、RE100にも対応した
実質再生可能エネルギー100%および二酸化炭素実排出係数をゼロにする電力プラン(販売:リコージャパン)

1. リコージャパン脱炭素目標

国際的に脱炭素化社会の実現に向けた活動が進み、国内においても政府や企業の関心が益々高まっています。リコーグループは2030、2040、2050年に対しスコープ1,2,3及び再生可能エネルギーの脱炭素目標を設定しています。このたびリコージャパンとしての2030年以降の脱炭素目標を設定しました。

＜リコージャパン脱炭素目標＞

| | 2025年 | 2030年 | 2040年 | 2050年 |
|-------------------------|-------|-------------------------|-------------------------|-------|
| スコープ1,2 (基準年:2015年度) | ▲40% | ▲63% | 実質排出ゼロ | ネットゼロ |
| スコープ3 | — | リコーグループのスコープ3削減に資する活動実施 | リコーグループのスコープ3削減に資する活動実施 | |
| 電力再エネ比率 (RE100) | — | 100% | 100% | 100% |

2. 脱炭素ロードマップ V1.0

脱炭素目標の達成に向け実効性を高めた取り組みを計画的に進めていくため、脱炭素ロードマップV1.0を策定しました。具体的には①事業所使用電力の再エネ化 ②車両管理・運用の最適化 ③拠点の省エネ化の3つの主要施策による社内実践を進めます。

脱炭素ロードマップは、施策の進捗状況や社会動向・顧客要請の変化などに柔軟に対応しながら、施策の実効性をさらに高めていく予定です。

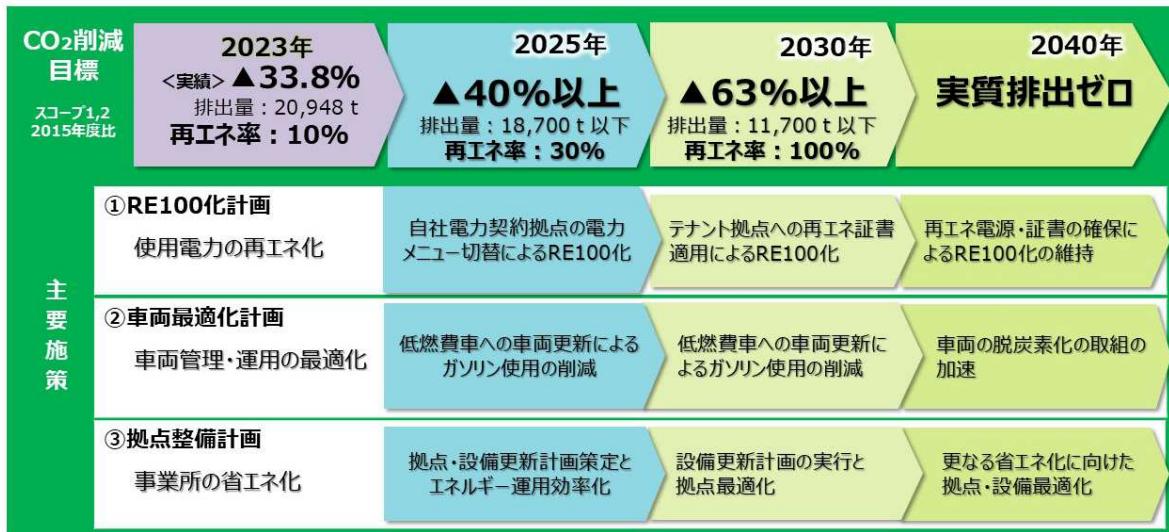
取り組みの第一弾として、本年5月より2025年度のサステナビリティ目標でもある「自社のCO₂排出量(削減率):18,700t、2015年度比40.9%削減」の達成に向け、リコージャパンが調達・販売するRE100対応の電力メニューを172事業所に導入し、再エネ電力活用の社内実践を展開します。

リコージャパン株式会社 <https://jp.ricoh.com/companies/ricoh-japan>

報道関係のお問い合わせ先 リコージャパン株式会社 コーポレートコミュニケーション部

広報・ブランドティンググループ E-mail: zjc_rjccd@jp.ricoh.com

<リコージャパン脱炭素ロードマップ V1.0>



<3つの主要施策>

- ①事業所使用電力の再エネ(RE100)化
 - ・電力ビジネスのノウハウを活用した RE100 対応電力の調達
 - ・パートナー企業と連携した再生可能エネルギーの創出、導入
- ②車両管理・運用の最適化(ガソリン削減等)
 - ・車両運用に対する方針の策定(更新基準、車両選定、運用効率化等)
 - ・HEV、PHEV、FCEV、EV 等を含む車両更新
 - ・カーシェアサービスの活用拡大
- ③拠点の省エネ化
 - ・拠点整備に対する方針の策定(統合・移転基準、事業所設備選定等)
 - ・拠点の統廃合、移転、省エネ化
 - ・エアコン・照明等の設備更新

リコーグループは 2017 年 4 月に日本企業として初の「RE100」参加をきっかけとして、再生可能エネルギー使用率の向上と質の確保に向けて、自社の拠点スペースを有効活用するオンラインでのフィジカル PPA や、オフサイトでのバーチャル PPA など、新たな再生可能エネルギー電源への投資拡大を促す効果がある「追加性」のある再生可能エネルギーの利用拡大を進めています。地域社会への貢献を一層強化し、さまざまな手段で再生可能エネルギーの導入をさらに加速させます。

「Driving Sustainability for Our Future. ~持続可能な社会を、ビジネスの力で。~」リコーグループは今後も、事業を通じて社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

関連情報

リコーグループ環境目標(脱炭素分野)

https://jp.ricoh.com/sustainability/environment/zero_carbon_society#section03

リコージャパンと穴吹興産が再生可能エネルギー事業における業務提携契約を締結

穴吹興産とともに、2025年4月よりオフサイトコーポレートPPA事業を展開

https://jp.ricoh.com/release/2024/1220_0

*社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

| リコーグループについて |

リコーグループは、お客様のDXを支援し、そのビジネスを成功に導くデジタルサービス、印刷および画像ソリューションなどを世界約200の国と地域で提供しています(2025年3月期グループ連結売上高2兆5,278億円)。

“はたらく”に歓びを 創業以来85年以上にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもりーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>